

## 令和8年度「生成A I等活用モデル事例創出プロジェクト」の実施について

### 1 要旨・目的

今年度から新たに、県内の中小・小規模事業者を対象に、生成A I等を活用した業務効率化や売上向上に向けた伴走支援を実施し、身近な成功モデル事例の創出と県内への波及を図る。

### 2 現状・背景

- ・ 県が行った「令和7年度DXに関する実態調査」によると、県内の民間事業者等の約5割がデジタル技術の活用を含むビジネス変革の必要性を感じているものの、実際に取り組んでいる割合は約3割に留まっている。
- ・ また、生成A Iの活用について、関心はあるものの特に利用予定はないと回答した割合が2割を超えており、具体的な活用場面や効果をイメージしにくいことが障壁になっていると考えられる。
- ・ このため、生成A I等を活用した身近な成功モデル事例を創出し、個社の課題に応じた支援を通じて実務定着と自走化を促す必要がある。

### 3 支援概要

- ・ 県内の中小・小規模事業者（業種不問）を対象に、個社ごとの課題を洗い出し、生成A I等を活用して、業務効率化・売上最大化に向けた適切な解決・改善を図る。
- ・ 個別伴走支援と集合研修を組み合わせたプログラムを通して、課題整理からツール活用、業務フローへの定着、自走化までを一貫して支援する。

#### (1) 対象者

従業員100名以下の中小・小規模事業者（20名以下を優先）のうち、20社程度

#### (2) 募集期間

令和8年6月22日（月）～7月10日（金）

#### 【問合せ先】

「令和8年度中小・小規模事業者DX着手支援業務」事務局（アデコ株式会社）

メールアドレス：hiroshima-dx@jp.adecco.com

専用HP：<https://hiroshima-dx.jp/r8-aikobetsubansoshien/>

### (3) 支援内容

区分	期間	テーマ	内容
個別伴走 ※6回 (90～120分/回)	7月下旬 ～8月	業務の棚卸・課題 特定	現状業務、作業時間、使用データ・ツールを確認し、効率化・売上最大化に向けた優先課題を特定
	9月	A I活用シナリオ 設計・実行	業種・課題に応じて生成A I等の活用手順を個社別に設計し、実データで試行・改善
	10月	効果測定・自走化	作業時間短縮や運用状況を確認し、支援終了後も継続できる手順・ルールを整理
集合研修 ※2回 (120分/回)	8月・9月 (予定)	目線合わせ・コミュニティ形成・取組共有	取組意欲の醸成及び参加事業者間での取組状況、成果、課題等を共有

### (4) 取組結果の波及に向けた取組

- ・ プログラム参加者の取組内容を、別途開催する「DX事例共有会」において報告する。
- ・ 個別伴走支援を通じて、事例カタログ、実演動画、業務効率化実践ツール（マニュアルや汎用プロンプトなど）を作成し、HP等で展開する。

### (5) 参加費

無料

## 4 予算額（国庫）

20,714 千円

※全額「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を充当

AI導入伴走支援プログラム

経営 × AI で  
売上を変える。

ゼロから始める  
貴社だけのAI活用。

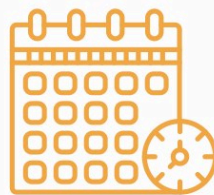


20社限定

選定審査あり



参加費ゼロ



伴走支援期間  
7月下旬～  
10月上旬



募集期限  
7月10日



詳しくは  
裏面の二次元コードから



# 3ヶ月後、貴社の現場に「AIが定着する」

01

課題の見える化



02

生成AIを活用し  
個社別に設計



課題解決・  
売上向上へ

04

03

個別伴走6回  
+集合研修2回



飲食店

- ・MEO改善：説明文・写真・Q&A
- ・セットメニュー設計で客単価UP

小売店

- ・SEO記事・SNS投稿ネタ自動生成
- ・EC商品ページ作成

サービス業

- ・信頼可視化（口コミ・実績訴求）
- ・回数券・コース設計で継続率UP

建築・  
工務店

- ・施工写真整理・報告書自動化
- ・現場ナレッジDB化

製造業

- ・議事録・日報の自動化
- ・品質管理・在庫データ分析

IT・士業  
その他

- ・提案書・契約書ドラフト自動化
- ・Q&Aリスト・ナレッジベース構築

応募要件



- ・県内中小企業
- ・従業員100名以下(20名以下優先)



経営者本人参加



業種不問

## AI導入 3Step

プログラムは、3つのステップで構成。

生成AIがわからなくても、自社で使える状態まで、一緒に伴走します。

Step 1

業務の棚卸×課題特定



経験豊富なコンサルタントが、丁寧にヒアリング。漠然とした課題を言語化し、AIで解決できる可能性を探ります。

第1～2回・7月下旬・8月

Step 2

AI活用シナリオ×実行



特定した課題に合わせたAI活用シナリオを共に検討。具体的なAIツール導入やデータ整備を、専任の担当者が伴走し実行をサポートします。

第3～5回・9月

Step 3

効果測定×自走化



導入したAIの効果をKPIで測定し、改善提案。プログラム終了後も、貴社自身でAIを運用・改善できる体制構築を支援します。

第6回・10月

まずは二次元コードの読み込みから！

費用ゼロで

AI導入をスタート



AI導入伴走支援プログラムに  
申し込む

20社限定 ※選定の審査あり

詳しくはこちら >>>

